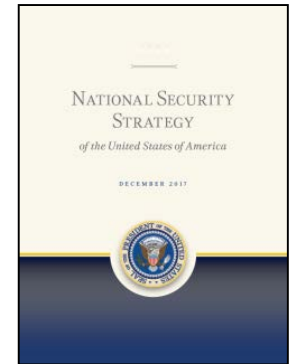


大統領の国家安全保障戦略、核態勢の見直し、一般教書演説

国家安全保障戦略（2017年12月18日発表）の主要ポイント

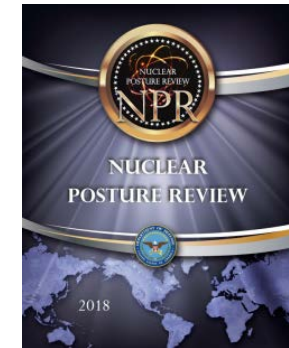
- **国家安全保障上の脅威と優先課題：**
 - ✓ 米国の国家安全保障に重大な影響を与える課題は、中国や露国、イランや北朝鮮、テロリスト。これらへの対応方策として、「米国第一主義」に基づいて強い米国を実現するとし、「国民と国土の防衛」、「米国の繁栄促進」、「力による平和の維持」、そして「米国の影響力の拡大」を優先的課題として提示。
- **具体的な方策：**
 - 核兵器（備蓄核弾頭、核戦力の三本柱）、老朽化する核兵器関連インフラ（指揮管理システム等）、核兵器関連事業の維持及び近代化
 - テロ対策及び大量破壊兵器拡散対抗に係る措置の強化と国際支援
 - 原子力技術（特に次世代原子炉）向上により、エネルギー分野の技術的優位を進展



National Security Strategy

核態勢の見直し報告書（2018年2月2日発表）の主要ポイント

- **トランプ政権の核態勢の見直しの特徴：**
 - ✓ 「核兵器なき世界」を持論としたオバマ前政権に比し、中国や露国、イランや北朝鮮、テロリストによる核の脅威の増大に対抗するため「柔軟かつ多様な核戦力」の必要性を強調
- **具体的な方策：**
 - 核戦力の三本柱の近代化、新型核兵器（潜水艦発射型弾道ミサイルに搭載可能な低威力核弾頭、海洋発射型核巡航ミサイル）の研究開発
 - 核弾頭維持管理関連インフラの能力向上、核指揮統制通信システムのサイバー攻撃等からの防護強化
 - 核テロ対策、核不拡散、核セキュリティの強化と国際支援（核・放射性物質、技術及び知識の不法移転の検知と阻止能力の強化、盗取に対する脆弱性の低減、核鑑識/輸出管理/保障措置の強化等）
 - 国際原子力機関、包括的核実験禁止条約機構準備委員会、国際監視体制、国際データセンターへの支持継続



Nuclear Posture Review

一般教書演説（2019年2月5日発表）の主要ポイント（主に核不拡散に係る部分）

- 「偉大さの選択」をテーマとし、上下両院での「ねじれ」状態を打開するため、超党派での行動を呼びかけ。
- **北朝鮮：**朝鮮半島における平和の設立に向けた歴史的な進展を継続。2019年の2月27日と28日に、ベトナムで金委員長と会談を行う。
- **イラン：**イランが核兵器を絶対に獲得しないことを確保するために、米国はイラン核合意から脱退した。2018年秋、同国に今まで科されていた中で、もっとも強力な制裁を同国に導入した。
- **INF条約からの脱退表明：**米国は、INF条約からの脱退を正式に通告した。国は、中国及び他の諸国を包含する、異なる条約を交渉する可能性があるが、それが不可能であれば、その他の全てのミサイル群に対する予算の増資又は革新技術を導入していく。